

◎ 空手道部、九州大会3位入賞！

～団体形・県中総体は4連覇達成～



九州大会 形の演技

7月28日(土)～30日(月)に猛暑の中で行われた県中総体。台風12号が異例のコースで接近してきましたが、幸いにも大きな影響もなく無事に終了することができました。

結果につきましては、本校のHPにも掲載しておりますが、空手道部が団体形の部で見事優勝し、大会4連覇と九州大会出場を決めました。また、陸上競技でも、小川栄人くん(800m)、岩崎萌さん(走高跳・100H)が九州大会出場を果たし、今日と明日の二日間、佐賀市での九州大会に挑んでいます。

県中総体には、空手道・陸上競技以外にも、「ソフトテニス」「バドミントン」「水泳」「柔道」も出場し、県内各地で激しい戦いに挑みましたが、後一步で勝利には届かなかった試合のありますが、これまで重ねてきた努力は、まちが

いなく自分自身を成長させ、次のステップに進む糧になったことだと思います。

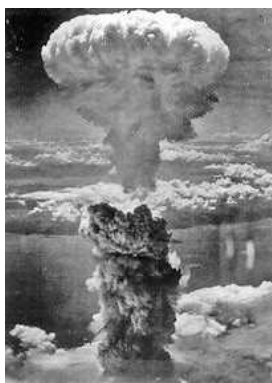
そして8月5日(日)には、空手道の九州大会が佐賀市で開催されました。昨年度の大会では惜しくもベスト8で敗退しましたが、今年度は、初戦で宮崎、準々決勝では福岡の中学校に勝利してベスト4まで進み、3位入賞を果たしました。空手道は、2020東京オリンピックの正式競技として決定しましたが、野球やサッカーのようにテレビで放映されることもなく、どちらかといえばマイナーなイメージの競技です。しかし、琉球王国を発祥とし、多くの流派を持つ「空手道」人口は、現在、世界で約6500万人といわれ、約3500万人の野球をはるかにしのぐメジャーな競技なのです。その中でも形の演技は、上位の大会になればなるほど「技の切れ」「気迫」「動きの美しさ」に感動させられます。空手道部は、8月18日(土)に宮崎市で行われる全国大会に挑みます。さらに練習で「空手道」を極めて、3年生としての最後の大会に有終の美を飾ってほしいと思います。



◎ 73回目の「長崎原爆の日」！ ～進む記憶の風化、被爆国としての課題は～

73回目の「長崎原爆の日」がやってきました。年々進む被爆された方々の高齢化とともに、記憶の継承が大きな課題となってきました。ある全国調査の結果では、「長崎市」に原爆が投下された日付について、「長崎市」では60%の方が正解だったのに対して、それ以外の地域では25%の正解しかありませんでした。

世界の状況が不安定さを増すなか、キノコ雲の下で起こった惨状とともに、核兵器の非人道性を訴える重要性は増してきています。「二度と被爆者を出してはならない」という願いを叶えるためにも、平和教育の中でしっかりと次の世代に伝えていくこと、それが唯一の被爆国に課せられた重い課題だと感じています。



◇雑感「教室にエアコン???」◇

8月になっても連日続く猛暑。各地で40℃の気温と耳にするだけでクラクラしそうです。

さて、そんな状況を受けて、世間では学校の教室にもエアコンの設置を求める声が高まっています。ただ、現在設置されているエアコンをすべて稼働させると、コードが焼き切れるという脆弱な中里中の現状では、エアコン設置は絵に描いた餅のようです。せめて、災害時の避難場所に指定されている「体育館」だけでも、エアコンが設置できないものかと願うばかりです。

